

宇宙甲子園
ロケット部門2025
東京地方予選
大会要領
及び
競技規則

2025年8月20日 Rev. A

宇宙甲子園東京地方予選 実行委員会

改訂履歴

符号	制定日付	改訂箇所	内容，理由等
NC	2025年3月16日	初版制定	
A	2025年8月20日	詳細追記	役職決定など

目次

改訂履歴	2
はじめに	4
1. 大会概要	4
【東関東大会】	4
【西関東大会】	4
2. 当日スケジュール	5
3. 注意事項	6
1 競技会進行上の注意事項	6
4. 表彰	7
5. 参加要領（要修正）	8
1. 参加資格	8
2. 募集人数	8
3. 参加費用	8
4. 参加申込	8
5. 中継について	8
6. 見学について	8
6. 全般：参加者の注意事項	9
7. 人員配置	10
1. 担当者名	10
8. 会場レイアウト	11
1. 各会場について	11
【日本大学 二和グラウンド】	11
【東京電機大学 埼玉鳩山キャンパス】	12
2. 会場内レイアウト	13
9. 物品表	14
10. ロケット甲子園2025レギュレーション	15
1 安全.	15
2. チーム.	15
3. ロケットの要件.	16
4. ペイロード.	16
5. 滞空時間の得点.	17
6. 高度の得点.	17
7. 飛行.	18
8. 安全な回収.	18
9. ロケットの回収.	18
10. 打上装置.	19
11. フライトコントロール.	19
12. 順位.	19
13. 大会エントリー その他.	19

はじめに

2025年度は諸般の事情により、既存の日本モデルロケット協会が実施する大会と宇宙甲子園が実施する大会は別ものとなりました。しかしながら、大会参加者の支店ではより条件が複雑となり大会参加やその判断が難しくなる可能性が高い。そこで特に競技人口の多い関東地方において、上記組織の双方から地方予選として認められた大会を実施し、その中で複数の基準で審査を受ける形で地方予選を実施しその効果を確認します。ついては、1大会でロケットのレギュレーションや審査基準が複数存在することとなります。参加者にあっては大会に向けた準備や当日の戦略/戦術のためにもより確実に本資料について確認をいただければ幸いです。素晴らしい競技会となるよう本資料をよく読み留意願います。

また、本大会の実施に当たって多大なるご協力をいただきました皆様には厚く御礼申し上げます。2025年度以降もより良い大会とすべく改善を重ねてまいります。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

宇宙甲子園東京地方予選 実行委員会 委員長 小笠原なおこ

1. 大会概要

【東東京大会】

日時：2025年9月20日、27日（予備日）

場所：日本大学二和グラウンド

主催：宇宙甲子園関東地方予選実行委員会

共催：一般社団法人宇宙甲子園、株式会社takarabaCo、株式会社宇宙の城

【西東京大会】

日時：2025年10月4日、11日（予備日）

場所：東京電機大学埼玉鳩山キャンパス

主催：宇宙甲子園関東地方予選実行委員会

共催：一般社団法人宇宙甲子園、株式会社takarabaCo、株式会社宇宙の城

2. 当日スケジュール

状況によりスケジュールは前後する可能性があります。

時程 時程	内容
09:00～09:25	・ 受付開始 ・ 機体検査
09:30～09:40	・ 大会開会式・ 諸注意 ・ サウンディングロケット（Alpha III，B型）打上げ
09:45～10:25	・ 打ち上げ準備
10:30～12:10	・ 第1ラウンド（100分）〔準備できたチームから打上げ開始〕
	・ 昼休憩
12:15～12:30	・ 競技ルール変更通知：変更がある場合
12:30～13:30	・ 昼食，休憩
13:30～15:10	・ 第2ラウンド（100分）〔準備できたチームから打上げ開始〕
15:10～16:00	・ 結果集計、交流会
16:00～16:30	・ 表彰，閉会式

3. 注意事項

1 競技会進行上の注意事項

- 大会当日に機体に破損や不具合があっても応急修理し確認を受ければ打上げ可能です。
■打上げ準備、打上げ時の手順をリストアップしてチェックリスト化しておくことミスを防ぎ、ノウハウも継承できます（慣れていない選手がいる場合は勿論、ベテラン選手の慢心によるミスを防ぐことにもなります）。
- 打上げ準備ー打上げー回収まで基本的に出場選手は自主的に行動しますが、スタッフの指示があれば従ってください。
- 操作するメンバー、飛翔観測・回収、進行管理するチームリーダなどチーム員の役割を決めておくことを推奨します。
- 前日までの天候により草地が濡れている可能性がありますので、天候を考慮して必要に応じ水濡れに強い靴や長靴を用意することをお勧めします。
- 終日野外活動をしますので日除帽の準備や水分補給は各自でしっかり取ってください。
- 会場は日除けの無い芝地です。当日の天気予報を確認し、日焼け対策や涼しい服装を考慮してください。
- 引率者はチームメンバーの携帯番号及び緊急連絡先を記した名簿を用意しておき、必要が生じたら提示できるようにしておいて下さい。
- 回収時など会場見通し範囲から離れる可能性がありますので、チームメンバーは携帯電話やトランシーバーで互いに連絡が取れるようにしてください（トランシーバーは何台か貸し出しできます）。
- 回収時に敷地外に出る場合は必ず引率者に連絡してから出るようにして、適宜連絡を取り合ってください。
- 回収は無理のない範囲で行ってください。

4. 参加要領

1. 参加資格

大会当日時点で有効なモデルロケットライセンス（第4,3,2,1級、指導講師のいずれか）を保持していること。

中学1年生から高校3年生または高等専門学校第3学年までであること
国籍は問わない

2. チーム構成

- 日本で活動する単一の学校または単一の組織に所属していること
(法人化されたアマチュアの青少年団体または教育機関も可)
- 同一の学校または団体からの最大登録チーム数は制限しない。
- 1チームは選手1～3名、サポーター1名以内で構成する。
- 同一の選手が複数のチームに選手登録（ダブルエントリー）することはできない。
- サポーターは選手の補助を目的とする。登録できるサポーターは選手同様に上記参加資格を有すること。
- 引率者、帯同者についてはライセンス保持の有無は問わない。
- 学校または団体の所在地は問わないが、東京地方予選において西東京もしくは東東京のどちらかに参加できる。

3. 参加費用

選手1名あたり ¥7,000（エンジン(ESTES製)やその付属品、リカバリーワディングなどは持参のこと）

期限内に指定の振り込み口座に入金すること。入金後の返金は原則不可とする。

4. 参加申込

参加フォームより必要事項を記入の上、申し込みください

5. 中継について

大会の様子はネットでライブ中継 / スポンサーによる撮影が行われる予定です。当日の様子は撮影記録を行い広報的に使用される場合があります。

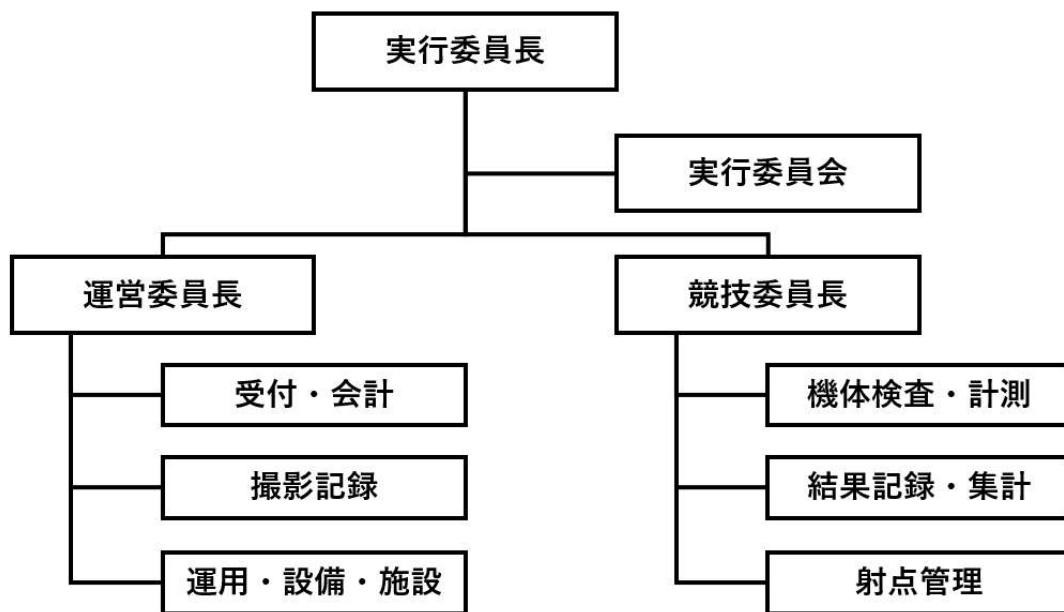
6. 見学について

見学は自由。一般見学者は火薬類取締法施行規則第56条3の2 第19号に規定された保安距離内に立ち入らないこと。大会開催中はスタッフの指示に従っていただきます。

5. 全般：参加者の注意事項

- (1) 選手、サポーターはモデルロケットライセンス（打上従事者証もしくは指導講師）を必ず持参すること。
- (2) 選手は、打上準備所へ持参のエンジンを持ち込み、打上準備作業を行う。
- (3) 機体検査を受けた機体のみが打上げを行うことができる。
- (4) 競技に出場する機体は、事前に打上げを行い安全な飛行ができることを確認しておくこと。
- (5) 打上げ実績のある機体と同一設計で新規に作られた機体の場合、打上げ実績がないため検査に時間を要する場合がある。
- (6) 大会当日の機体検査にて、審査員が「危険を及ぼす恐れのある機体」と判断した場合は、検査不合格とする。
- (7) 運営が指定した順番で打上げを行うが、状況により打上げ順が入れ替わることもある。
- (8) 選手、帯同者、関係者及びスタッフは、以下に示す従事者証もしくは関係者証のいずれかを身に付け、一般見学者と識別できるようにする。また、選手はゼッケンを着用する。
- (9) 発射台及び点火装置について、大会運営でESTES社製のものを準備予定です。自作の発射台および点火装置の使用も認めますが、事前に打ち上げに使用し安全性を確認してください。

6. 人員配置



1. 担当者名

- 実行委員会
 - 委員長：小笠原なおこ
- 運営委員
 - 委員長：中野美香
- 競技委員
 - 委員長：小笠原なおこ

7. 会場レイアウト

1. 各会場について

【日本大学 二和グラウンド】

住所：[〒274-0806 千葉県船橋市二和西1丁目2-10-1](https://www.google.com/maps/place/〒274-0806+千葉県船橋市二和西1丁目2-10-1/@35.6811111,139.7811111,15z/data=!3m1!1e3!3m2!1s0x60170c0000000000:0x60170c0000000000)



- 赤：発射台
- 青：受付本部
- 緑：打ち上げ準備場所
- 黄：参加者待機場所

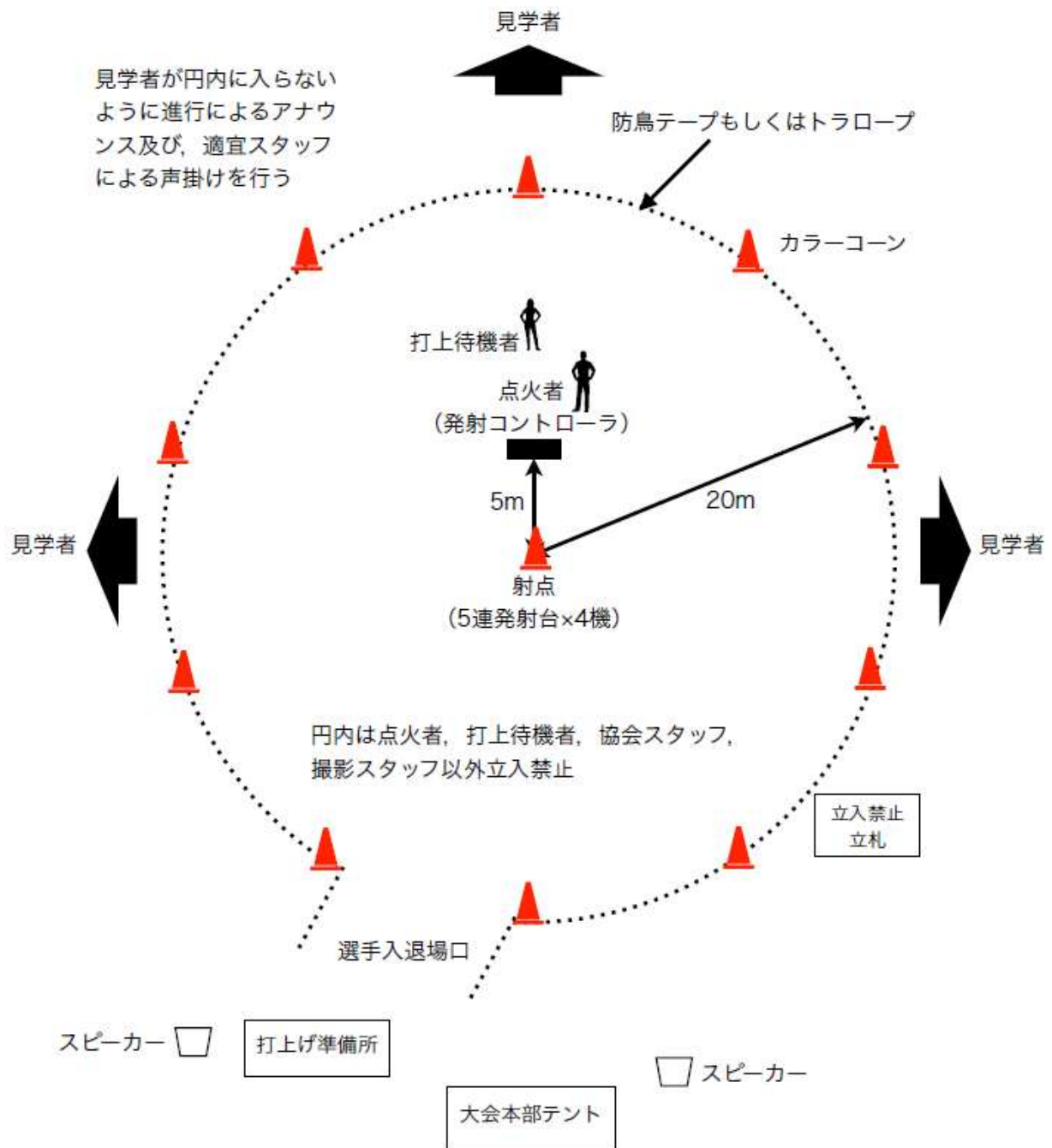
【東京電機大学 埼玉鳩山キャンパス】

住所：〒350-0311 埼玉県比企郡鳩山町石坂



赤：発射台
青：受付本部
緑：打ち上げ準備場所
黄：参加者待機場所

2. 会場内レイアウト



8. レギュレーション

＜宇宙甲子園ロケット部門全国大会地方予選会/オンライン申請競技規則 共通規則＞

宇宙甲子園ロケット部門全国大会地方予選会/オンライン申請で利用できる機体は、事前に1回以上の安全な打上げを実施した機体であることが必要です。

機体には生のうずらの卵と高度計を搭載します。

また飛行における目標最高到達高度と目標滞空時間が定められており、その目標値からの差異によりポイントが加算されます。その他のペナルティポイントと合わせ、ポイントがより少ないチームが上位となります。

～機体の規定～

市販のキットを一部変更したのみの機体は採用することができません。

- ①機体全長：300mm以上。フィンの後退代も全長に含まれます。
- ②ボディ（ポートテールを含む）直径：制限はありません。
- ③推進方法と制限：ロケットの推進にはトータルインパルス5.0N・s（B型モーター出力相当）以下のモデルロケット用エンジンを1本のみ使用に限りです。その他の方法をロケットの推進に使用することはできません。
- ④回収装置の制限：パラシュートのみ
- ⑤機体重量制限：150g以下
- ⑥搭載要件：生のうずらの卵および高度計各1つ（詳しくは搭載物の要件を参照ください）
- ⑦構造要件：ロケットは1段式に限ります。またロケットは、『モーター（エンジン）搭載部』と『生のうずらの卵および高度計の搭載部』が分かれる構造であって、それぞれが別々の回収装置によって安全に回収できることとします。モーター（エンジン）は、クリップやエンジンフック、スクリューキャップなどを用いた機械的な固定をしなければならず、飛行後に取り外しができることとします。摩擦のみで固定する方法は採用できません。
- ⑧マーキング：ロケットは全体が塗装されているかコーティングされていなければなりません。ロケットにはチーム代表者のJARライセンスナンバーが記載されている必要があります。

～搭載物の要件～

- ①卵：各自チームで用意してください。卵は、卵全体を保護する部材で覆う必要があります。保護する部材は金属を使用してはなりません。
 - 卵の種類：生のうずらの卵（一般的には約10g）
 - 卵の状態：ひびや割れのないこと
- ②高度計：高度計はPerfectflite Pnut、Firefly、Jolly Logic Altimeter OneもしくはJolly Logic Altimeter Twoとします。高度計にリプログラムを施すなどの改変はできません。

～フライトコントロール～

自立式フライトコントロールの許可：ロケットが打ち上げられてから、無線や外部から生成された信号を使用することはできません。ただし、GPS信号を除きます。飛行の制御として、火薬を使用しない自立式のオンボード制御システム、またはポイントの計算に使用する以外の高度計を採用することもできます。

～発射台/コントローラーの要件～

発射台は大会運営が用意するものを使用することができますが、いずれのレギュレーションであっても、チーム独自で製作した発射台を使用することも認められます。大会運営が使用する発射台は以下を参照してください。コントローラーは大会関係者が提供するものを使用してください。ランチロッドの直径はφ3mmとし、ディフレクターからランチロッド先端までの長さは600mm以上とします。素材はステンレスとします。

<オンライン競技会規則>

①申請内容：1フライトによる結果を申請します。申請の対象とするフライトは立会人同席のうえ、一連の打上について動画を撮影します。一連の打上動画撮影内容として以下のものを1つの動画として提出してください。（動画は編集しないこと）

1. 卵の梱包および搭載
2. 高度計のリセット、0確認、搭載
3. ランチャーへの移動およびセット
4. 打ち上げ、タッチダウン、回収
5. 回収後の開封および卵の状況確認、高度計の記録確認

②報告書作成および申請：当該打上によって得られた記録を報告書に記載し、立会人による内容の確認・署名の上申請します。報告書フォーマットは申込時に配布します。

【申請先】株式会社うちゅう info@uchu2.com

【申請期限】2025年10月30日

【申請内容】報告書、打ち上げ動画

③最高到達高度の目標：

B型エンジン 250ft (76m)

④滞空時間の目標

B型エンジン 16～18 sec.

※2名以上の計測者と1/100秒の表示があるストップウォッチを準備し中央値に近い2名の結果の平均を採用してください。

～決勝戦進出者の選考方法について～

①期日までに提出された報告書に記載された記録をもとに一般社団法人宇宙甲子園が選考を行います。

②単一の学校または単一の組織から出場したチームについて、オンライン競技会から決勝戦へ出場できる最大チーム数は2チームとします。但し、地方予選会から決勝戦へ出場するチームがある場合は成績上位の1チームのみがオンライン競技会から決勝戦へ出場できます。（単一の学校または単一の組織から最大2チームが決勝戦へ出場できる）

③順位と得点は一般社団法人宇宙甲子園のHP上にて公開します。

～立会人について～

学校長・副校長・教頭などの管理監督を司るものないしそれに準ずる職位にあるもの、もしくはモデルロケット3級または指導講師ライセンスを有する者としてします。ただし、参加チームの指導者や顧問は不可とします。

～審査および減点と失格の対象～

①卵の安全な回収：打ち上げ後に審査員により卵の状態が確認されます。ヒビや割れがあった場合は申請する記録とすることはできません。なお、卵を保護するための部材はチームメンバーによって外されなければなりません。

②打ち上げ成績からのポイント計算：最高到達高度の目標からの差異によるポイントおよび滞空時間の目標からの差異によるポイントを計算し、合算して結果とします。

>高度：

高度の得点は、それぞれftで表す目標高度と高度計に記録された高度の差の絶対値がポイントになります。

>滞空時間：

本競技において滞空時間は、リフトオフ（離床）からペイロード部のタッチダウン（着地）までの時間とします。滞空時間の得点は、滞空時間の目標の範囲に入る場合と、入らない場合で異なります。滞空時間の目標の範囲に入れば0点が滞空時間のポイントになります。滞空時間の目標に満たない場合は、最小の滞空時間の目標と計測の滞空時間との差の絶対値（1/100sec.単位）を4倍し、滞空時間のポイントとします。滞空時間の目標を超える場合は、最大の滞空時間の目標値と計測の滞空時間との差の絶対値（1/100sec.単位）を4倍し、滞空時間のポイントとします。

③マーキングの不備：機体へのマーキングに不備があった場合、チームへのポイントとして5ポイントが加算されます。

④ダブルフローティング：モーター（エンジン）への不点火が2回あった場合は失格とします。

⑤着地前の介入の禁止：ロケットが打ち上がり着地するまでは、キャッチをするなど、人の手を介してはなりません。

⑥危険飛行：飛行するロケットの軌道が予測できない場合や人員または建物などに危険が及ぶ飛行をした場合、ロケットの破損、部品の脱落、モーター（エンジン）の不具合が原因でない炎上などが起こった場合は失格となります。特に人員または建物などに危険が及ぶ事態があった場合には、競技全体を中止することもあります。

⑦スポーツマンシップに反する行為：卵への細工、高度計の改変、発射台への細工、他のチームへの妨害などがあった場合には、失格とします。

＊モーター（エンジン）が異常燃焼をしたこと（CATO of the motor）による不具合は打ち上げ回数に含めず、予備の機体とモーターを使用して、もう一度打ち上げができます。

～安全のために～

①事前打ち上げの実施：競技に参加できる機体は、テストフライトで安全な打ち上げおよび回収をした機体でなければなりません。安全な打ち上げとは、ロケットの進行方向が予測できないことなく上昇し、上空でロケットのパーツやエンジンが脱落することなく、回収装置が開いて安全に回収できることです。機体が上空で炎上することも安全な打ち上げには含まれません。（テストフライトにおいて機体の紛失（ロスト）もしくは打ち上げで壊れた機体と同設計で新規に作られた機体の場合、打ち上げ実績が判断できないため機体検査を受け付けられません。）

②禁止デザイン：事故防止の観点より、機体先端に細長い円柱（例：爪楊枝や竹串、プラスチック丸棒）などを設置することは禁止いたします。（大会当日の機体検査において、検査員が『危険を及ぼすおそれのある機体と見なした場合』は検査不合格といたします。）

③安全な回収：危険な場所に着地した機体は無理に回収しようとしてはなりません。競技スタッフに申告の上、回収のサポートを依頼してください。

～競技・大会におけるその他の注意事項～

①ライセンスの携帯：選手、サポーターのモデルロケットライセンス所有者はライセンスを必ず持参してください。当日にチームメンバーにライセンス保持者がいない場合、競技会へ参加することはできません。

②引率者の成人確認：引率者の方は、公的機関が発行する身分証明書（運転免許証など）を必ず持参してください。

③機体検査：オンライン競技会では実施しません。

④回収装置の要件：パラシュートの基準は競技規則に準じます。

⑤打ち上げ順：各予選会のレギュレーションで決定してください。

⑥フライオフの実施：競技の成績が等しい場合は、フライオフにて順位を決定します。フライオフのレギュレーションは同様とします。フライオフで使用するエンジンおよびイグナイターは、チームによって使用型式が異なるため、各チームでご用意ください。

<大会で使用されるエンジンについて>

各チームでご用意ください。

(以下余白)